



FOCUS 1&2 USER GUIDE



高性能の多目的センサー

技術仕様

種別	: 近赤外線反射タイプ
検知距離	: 0.6m ~ 2.5m(可変)
取付け高さ	: 最大 3m
モジュール角度(FOCUS 1)	: 0° ~ 25° (5° 刻み)
ビーム直径 (取付け高さ 1.7m)	: 10cm
検知方式	: 静止および動体検知
検知信号保持時間(静止時)	: 無限
応答時間	: < 50ms
供給電圧	: 24V AC±10% / 24V DC±20%
電源周波数	: 50 / 60Hz
消費電力	: < 1W(VA)
標準出力	: 無電圧リレー接点時
・最大接点電圧	: 60V DC/125V AC
・最大接点電流	: 1A (抵抗負荷)
・最大切り替え電力	: 30W(DC) / 60VA(AC)
出力保持時間	: 100ms
調整	:
・検知距離(調整ネジにより可変)	
・モジュール角度、0° ~ 25° まで 5° 刻み(FOCUS 1)	

動作保証温度	: -25°C ~ +55°C
電磁環境対応	: EMC 対応(89/336/EEC 準拠)

FOCUS 1

壁面 / 天井取付け用アルミケース

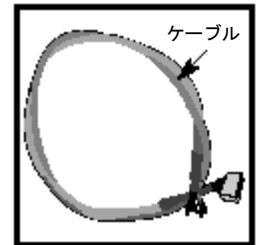
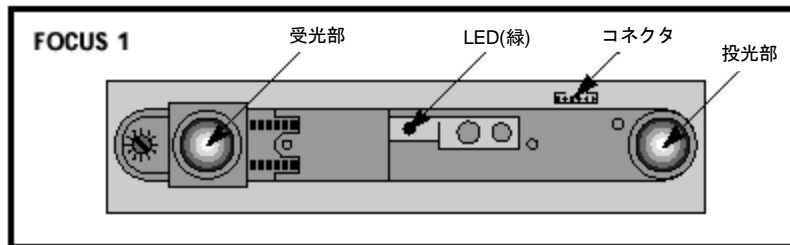
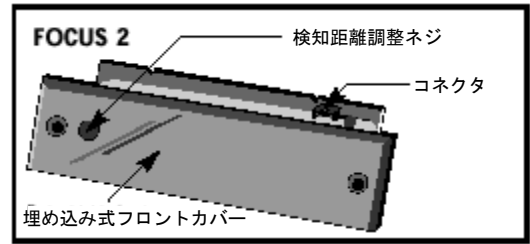
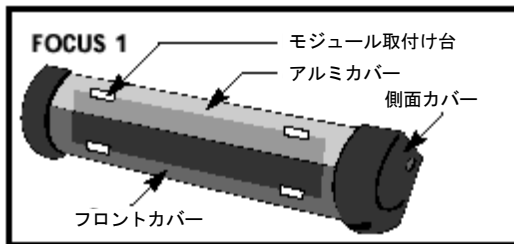
外形寸法	: 220mm(幅) x 48mm(高さ) x 48mm(奥行き)
重量	: 200g
材質	: アルミ, ABS 樹脂, プレキシガラス
カバーの色	: 酸化皮膜あるいは黒 フロントサイドは黒
ケーブル長さ	: 3m

FOCUS 2

埋め込み型フロントカバー

プリント回路の寸法	: 170mm(幅) x 37mm(高さ) x 27mm(奥行き)
フロントカバーの寸法	: 200mm(幅) x 45mm(高さ) x 5mm(奥行き)
重量	: 125g
フロントカバーの材質	: プレキシガラス
フロントカバーの色	: 黒
ケーブル長さ	: 3m

各部の名称



使用上の注意

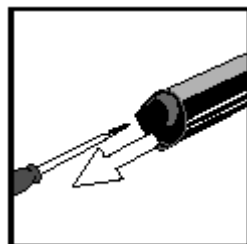


検知領域には何も置かないでください

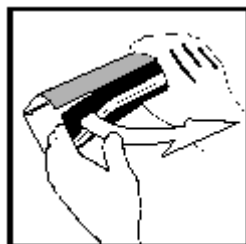


FOCUS 1は、なるべく雨にあてないでください

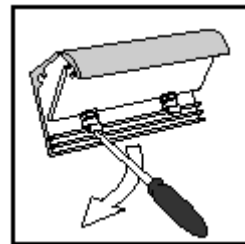
FOCUS 1 の開け方とはずし方



・側面カバーをはずします



・どちらかの端からフロントカバーをはずします



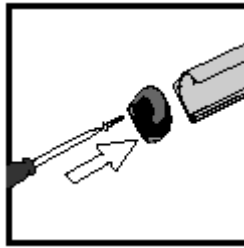
・ネジ回しを使って、取付け台をモジュールからはずします

FOCUS 1
ケースの
ドアへの
取付け

1. 最初の準備

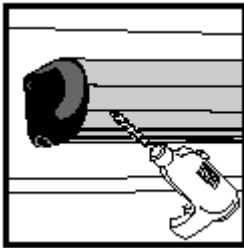


- ・ケーブルを通す側面カバーを選びます
- ・カバーのケーブルが通る部分を壊します

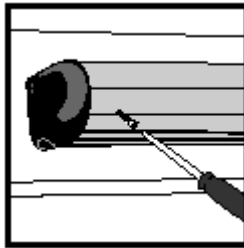


- ・カバーをケースに取付けます

2. 壁面に取付ける場合



- ・アルミケースの裏側とドア・フレームに2つの穴をあけます (穴は溝に沿って決めます)



- ・取付けネジを締めます
- 警告:** モジュール取付け台と同じ位置にネジを締めないで下さい

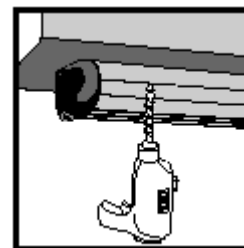


- ・設置例: 自動窓の開閉

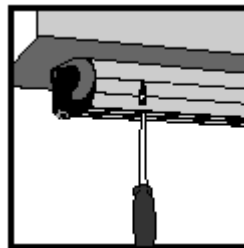


- ・設置例: 双方向の往来があるドアでの静止検知 (ブザーとの連動を想定)

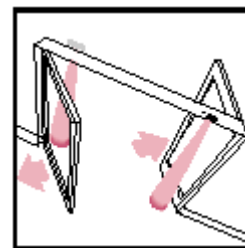
3. 天井に取付ける場合



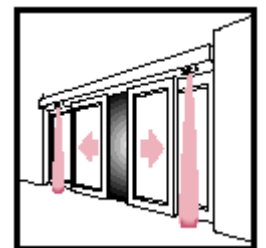
- ・ケースの上部に穴を2つあけます



- ・ネジを締めます

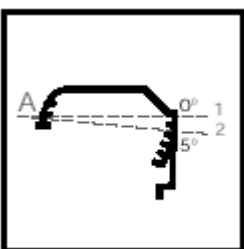


- ・設置例: 狭い範囲に反応する開き戸の開閉

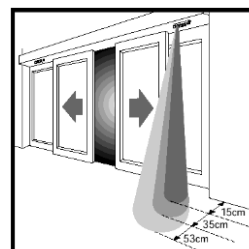
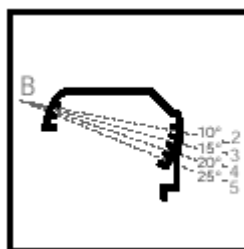


- ・設置例: 引戸オープン時のドア移動方向の安全性保証

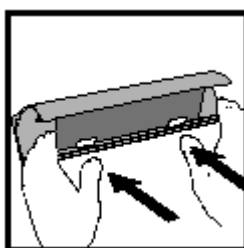
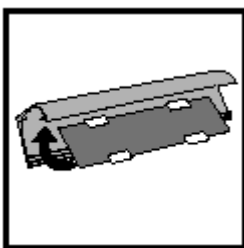
FOCUS 1
モジュールの
方向と
取付け方



- ・ケース内のモジュールの位置を、上に示す適切な位置から選びます
- ・推奨角度は20°です

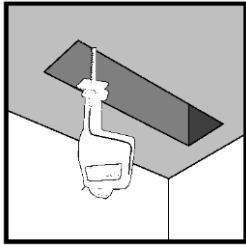


- ・引戸オープン時のドア移動方向の安全性を保証するために設定した、モジュールの取付け角度に応じた検知範囲

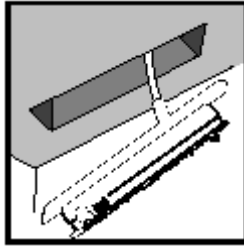


- ・ケーブルをコネクタに接続します
- ・モジュールを元通りケースに入れ、ケーブルを通すほうの側面カバーの横にコネクタがあることを確認します

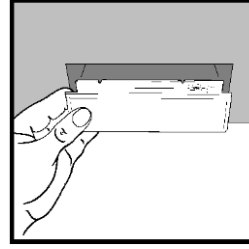
FOCUS 2 の 取付け



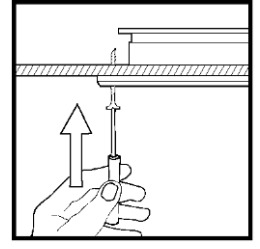
・天井に 170mm x 40mm の長方形の穴をあけます



・ケーブルを FOCUS 2 コネクタに接続します
・ケーブルを天井の穴に通します

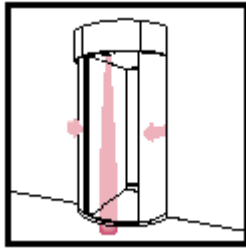


・ FOCUS 2 を差し込みます

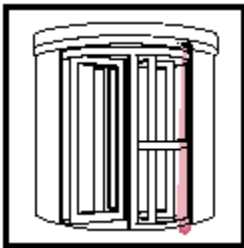


・取付けネジ(2個)を締めます

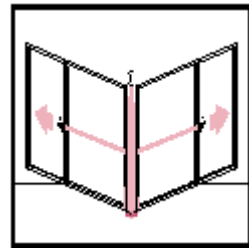
応用例



・円形引戸の安全性保証

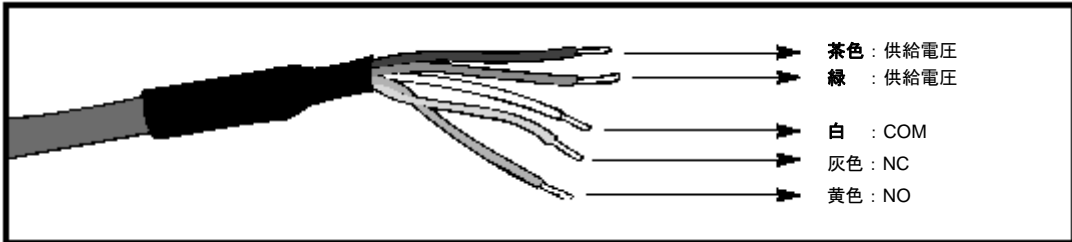


・回転式ドアの戸挟みの安全性保証



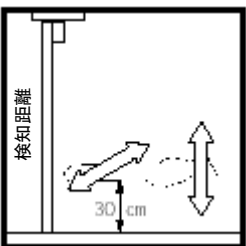
・直交二面式引戸の安全性保証

センサーの 配線



・上図のようにケーブルを接続します

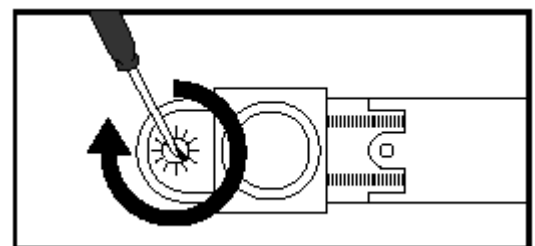
検知距離の 調整



・ FOCUS の入っていたバッテリーボックスを手にもちます

FOCUS 1

・ドアとの間にモジュール角度に応じた距離をあげ、箱の高さを床から 30cm に保ちます
・箱を上下左右に動かし、死角を調べます

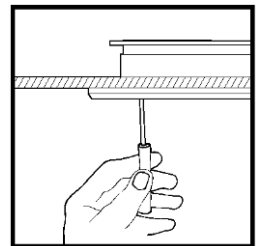
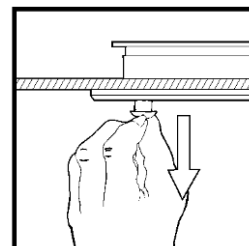


FOCUS 1

・ネジ回しを使って検知距離調整ネジを時計回りに回し(あるいは反時計回りに回し)、検知距離を±30cm 調整できます
・時計回りに 1 回まわすと、検知距離が 10cm ずつ広がります(反時計回りに 1 回まわすと、10cm ずつ狭まります)

FOCUS 2

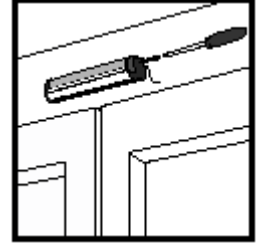
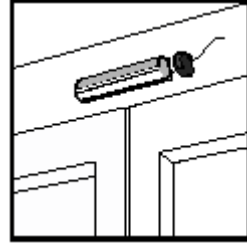
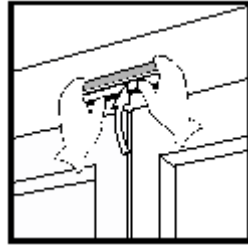
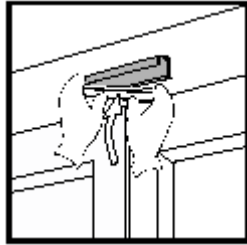
・床から 30cm の高さに箱を保持します
・箱を上下左右に動かし、死角を調べます



FOCUS 2

・検知距離調整ネジのプラグを注意してはずします
・障害物がないのに検知機能が働いた場合は、ネジを反時計に回します

FOCUS 1 の
取付けの
終了



・フロントカバーを元にもどします

1. 上側のレールをはめこみます
2. フロントカバーを徐々に締めます

・側面カバーの開口部にケーブルを通します

・もう1つの側面カバーを取付けます

トラブル
シューティング

現象	処置
LED(緑)が点灯しない	a) 電源をチェックする b) 検知距離を調整する
センサーが誤動作する	検知距離を短くする